



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月28日

上場会社名 ネットワンシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7518 URL <http://www.netone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉野 孝行
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 青山 純一 TEL 03-6256-0615
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年11月22日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	66,539	5.8	296	—	274	—	127	—
28年3月期第2四半期	62,919	6.7	△75	—	17	△80.0	△94	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △10百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △190百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.51	1.51
28年3月期第2四半期	△1.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	93,263	54,285	58.1	640.32
28年3月期	102,613	55,533	54.0	655.43

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 54,152百万円 28年3月期 55,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	0.6	4,500	83.4	4,500	73.5	3,000	98.8	35.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	86,000,000株	28年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,430,025株	28年3月期	1,453,525株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	84,564,204株	28年3月期2Q	84,541,616株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(その他注記情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①市場別の受注高・売上高・受注残高

エンタープライズ（E N T）市場は、セキュリティ対策およびクラウド基盤関連ビジネスが好調で、受注高・売上高ともに前年同期比で増加しました。通信事業者（S P）市場は、クラウドサービス基盤のビジネスが拡大する一方で通信設備の投資抑制が継続しており、受注高・売上高ともに前年同期比で減少したものの想定内で着地しました。パブリック（P U B）市場は、自治体のセキュリティ対策を中心に受注高・売上高ともに前年同期比で大きく増加しました。パートナー事業（ネットワークシステムズ株式会社－N O P）は、主要パートナー向けのビジネスが大きく伸長し、受注高・売上高ともに前年同期比で増加しました。

当第2四半期連結累計期間における受注高は、754億79百万円となりました。内訳としては、E N T市場で219億14百万円、S P市場で152億14百万円、P U B市場で254億98百万円、パートナー事業で125億56百万円、その他で2億94百万円となりました。

売上高は、665億39百万円となりました。内訳としては、E N T市場で209億14百万円、S P市場で157億77百万円、P U B市場で188億64百万円、パートナー事業で106億69百万円、その他で3億13百万円となりました。

受注残高は、623億6百万円となりました。内訳としては、E N T市場で197億74百万円、S P市場で102億70百万円、P U B市場で241億67百万円、パートナー事業で80億60百万円、その他で33百万円となりました。

②商品群別の受注高・売上高・受注残高

第1四半期連結会計期間より、クラウド基盤構築ビジネスの拡大などI C T基盤の統合の進展に伴い、「ネットワーク商品群」、「プラットフォーム商品群」、「サービス商品群」の3区分から「機器商品群」、「サービス商品群」の2区分に変更しています。主な変更として、各機能で分かれていた従来の「ネットワーク商品群」と「プラットフォーム商品群」を合わせ、新たに「機器商品群」として区分しています。

当第2四半期連結累計期間における受注高は、機器商品群が497億24百万円、サービス商品群は257億55百万円となりました。

売上高は、機器商品群が395億77百万円、サービス商品群は269億61百万円となりました。

受注残高は、機器商品群が239億21百万円、サービス商品群は383億84百万円となりました。

③損益の状況

売上高の増加に伴い、売上総利益は142億34百万円（第2四半期累計 当初予想達成率104.4%）となりました。販売費及び一般管理費が139億37百万円となった結果、営業利益は2億96百万円（第2四半期累計 当初予想達成率105.7%）、経常利益は2億74百万円（第2四半期累計 当初予想達成率98.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億27百万円（第2四半期累計 当初予想達成率67.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は932億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて93億49百万円の減少(9.1%減)となりました。

個別に見ますと、流動資産は821億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて93億57百万円の減少(10.2%減)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が120億23百万円、現金及び預金が16億73百万円それぞれ減少し、一方で、たな卸資産が合計で46億59百万円増加したことによるものです。また、固定資産は111億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて8百万円の増加(0.1%増)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は389億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて81億1百万円の減少(17.2%減)となりました。これは主に、買掛金が84億7百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は542億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億48百万円の減少(2.2%減)となりました。これは主に、配当金12億68百万円の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間においては、売上債権の減少等により営業活動によるキャッシュ・フローは6億38百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、営業用固定資産の取得等により5億17百万円の支出となり、また、財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払い等により17億91百万円の支出となり、差引で現金及び現金同等物は16億73百万円減少しました。その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は199億95百万円となりました。

なお、前年同四半期との比較は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は6億38百万円となり、前年同四半期に比べ41億76百万円の収入減となりました。これは主に、仕入債務の減少による支出が10億19百万円減少し、一方で、売上債権の減少による収入が30億36百万円減少し、たな卸資産の増加による支出が32億99百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は5億17百万円となり、前年同四半期に比べ3億18百万円の支出減となりました。これは主に、有価証券の償還による収入が5億円増加し、一方で関係会社株式の取得による支出が1億51百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は17億91百万円となり、前年同四半期に比べ1億33百万円の支出増となりました。これは主に、リース債務の返済による支出が1億12百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年4月28日に公表しました平成29年3月通期の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,668	18,995
受取手形及び売掛金	41,077	29,053
有価証券	1,498	999
商品	3,286	2,571
未着商品	645	268
未成工事支出金	12,625	18,374
貯蔵品	17	20
繰延税金資産	1,334	1,314
その他	10,366	10,565
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	91,519	82,162
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	4,007	4,073
その他	1,528	1,420
有形固定資産合計	5,536	5,493
無形固定資産		
のれん	61	51
その他	2,248	2,228
無形固定資産合計	2,309	2,280
投資その他の資産		
投資有価証券	162	306
繰延税金資産	1,103	1,064
その他	1,980	1,956
投資その他の資産合計	3,247	3,327
固定資産合計	11,093	11,101
資産合計	102,613	93,263

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,387	12,980
リース債務	1,672	1,792
未払金	1,178	1,065
未払法人税等	413	320
前受金	12,426	14,460
賞与引当金	2,686	2,326
役員賞与引当金	55	—
その他	2,624	1,866
流動負債合計	42,444	34,813
固定負債		
リース債務	4,130	3,728
資産除去債務	367	371
その他	136	65
固定負債合計	4,635	4,164
負債合計	47,079	38,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,279	12,279
資本剰余金	19,453	19,453
利益剰余金	25,289	24,146
自己株式	△1,143	△1,125
株主資本合計	55,878	54,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△9
繰延ヘッジ損益	△456	△592
その他の包括利益累計額合計	△463	△602
新株予約権	119	133
純資産合計	55,533	54,285
負債純資産合計	102,613	93,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	62,919	66,539
売上原価	49,302	52,305
売上総利益	13,616	14,234
販売費及び一般管理費	13,692	13,937
営業利益又は営業損失(△)	△75	296
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	5	—
持分法による投資利益	14	—
販売報奨金	30	33
団体保険配当金	73	56
その他	18	18
営業外収益合計	147	111
営業外費用		
支払利息	46	40
為替差損	5	89
その他	2	2
営業外費用合計	53	132
経常利益	17	274
特別利益		
関係会社株式売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	4	5
投資有価証券評価損	3	4
特別損失合計	8	9
税金等調整前四半期純利益	10	264
法人税、住民税及び事業税	57	15
法人税等調整額	46	120
法人税等合計	104	136
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94	127
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94	127

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94	127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	△2
繰延ヘッジ損益	△234	△135
その他の包括利益合計	△96	△138
四半期包括利益	△190	△10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10	264
減価償却費	1,242	1,348
のれん償却額	10	10
株式報酬費用	31	30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△796	△359
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92	△55
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
受取利息及び受取配当金	△9	△2
持分法による投資損益 (△は益)	△14	—
支払利息	46	40
関係会社株式売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	4
固定資産除却損	4	5
売上債権の増減額 (△は増加)	17,094	14,057
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,359	△4,659
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	222	△617
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,426	△8,407
未払又は未収消費税等の増減額	△492	△796
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△298	△90
その他	△167	△122
小計	6,005	652
利息及び配当金の受取額	10	2
利息の支払額	△46	△40
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,263	△74
その他	109	98
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,814	638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△789	△514
無形固定資産の取得による支出	△291	△373
関係会社株式の売却による収入	232	—
関係会社株式の取得による支出	—	△151
貸付けによる支出	△3	△2
貸付金の回収による収入	19	8
その他	△3	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△836	△517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,267	△1,263
リース債務の返済による支出	△386	△498
その他	△4	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,658	△1,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,319	△1,673
現金及び現金同等物の期首残高	21,374	21,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,693	19,995

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,899	18,693	14,682	8,389	62,664	254	62,919	—	62,919
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	—	—	2	5	464	470	△470	—
計	20,902	18,693	14,682	8,391	62,670	718	63,389	△470	62,919
セグメント利益 又は損失(△)	748	102	△583	77	344	△112	231	△307	△75

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益(営業利益)の調整額△307百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等△307百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,914	15,777	18,864	10,669	66,225	313	66,539	—	66,539
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	—	—	0	1	482	484	△484	—
計	20,915	15,777	18,864	10,669	66,227	795	67,023	△484	66,539
セグメント利益 又は損失(△)	271	717	△298	△93	596	3	599	△303	296

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益(営業利益)の調整額△303百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等△303百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、間接部門の費用を各セグメントの事業実態に合った合理的な配分基準に基づき配分する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

(その他注記情報)
 (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
給与手当	5,423百万円	5,420百万円
賞与引当金繰入額	1,778	1,968
退職給付費用	362	330
賃借料	1,239	1,283
減価償却費	469	551
のれん償却額	10	10